

今シーズンのインフルエンザの状況

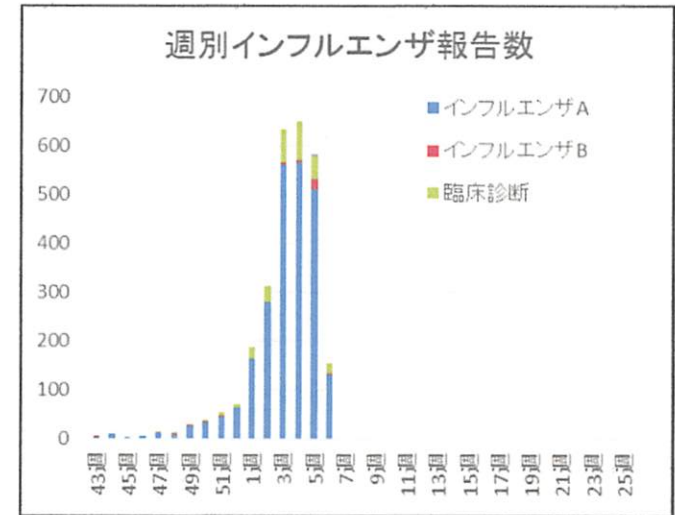
2017年2月7日

(2月6日までの報告です 1/30~2/5が第5週です)

	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	合計
インフルエンザA	4	9	3	5	12	8	25	33	44	63	164	279	561	566	509	130	2415
インフルエンザB	1	0	0	0	1	3	1	2	4	0	0	0	4	3	21	3	43
臨床診断	0	0	0	0	1	1	0	2	5	7	23	33	68	79	50	20	289
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
総診断数	5	9	3	5	14	12	26	37	53	70	187	312	633	648	582	153	2749

(52週は2016.12.26~2017.1.1.までです。)

2月7日までに23の医療機関より2749例の報告がありました。A型が2415例で、B型が43例です。第6週の1日目(2月6日)の報告数は110例でしたので、1月23日の136例よりはかなり減少しています。また、第5週の報告数は582例でしたので、第4週648例がピークだったと思われます。インフルエンザBの報告が増えてきていますが、下のシーズン別のグラフより推察すると大きな流行になることはなく、2014-15シーズンと同様にA型の流行で終息するのではと推測しています。しかし、教育委員会からの出席停止者は2/3までの報告で766例です。内訳は表の通りです。例年であれば1000~1700例(罹患率は15~25%)の報告がありますが、2月3日までの報告では小学生が349人と少なく、今後小学校で流行が起こると思われます。今週になり北小・山手小などで学級閉鎖が出ています。1月の岡山県のインフルエンザウイルス検出例は15例でAH3(香港型)が14例です。市内で流行中のA型もAH3と推測され、6シーズン連続のAH3型の流行です。個人的な印象ですが、昨シーズンA型に罹患した人は、家族内でも感染しないか軽症の人が多いようです。しかし、昨シーズンのA型の流行は小さく、まだまだ罹患していない小児は多いので、予防対策を続けてください。



中学校	1,966	262	13.3%
小学校	3,944	349	8.8%
幼稚園	922	116	12.6%
認定こども園	215	39	18.1%
合計	7047	766	10.9%

(2017年2月3日報告まで)

